

火薬類の保安

関東東北産業保安監督部
東北支部保安課

令和5年 火薬類事故(東北管内分)の発生状況について

令和5年に東北管内において火薬類取締法施行規則第82条第1項の規定に該当する詳報対象の事故が6件発生しました。

事故を種類別に見ると、産業火薬が3件、煙火が2件、がん具煙火が1件となっており、その概要は次表のとおりです。

■東北管内の事故情報

○令和5年火薬類事故の概要(東北管内分)

	発生日時	発生場所	種類	死	傷	事故概要
1	2月28日 16:30頃	宮城県 岩沼市	産業火薬	0	0	【爆発】産業廃棄物処理業者敷地内で、陸上自衛隊から収集した砲弾をガス溶断作業中に爆発が発生した。原因は、陸上自衛隊内で火薬がないことを確認し、鉄くずとして販売した廃弾の中に火薬が残留しており、溶断作業中に引火したものと推定される。
2	4月24日 15:31頃	山形県 東根市	がん具煙火	0	0	【火災】山形空港滑走路東側の草地より出火し、管制塔から連絡を受けた空港の消防警備隊が12分後に消し止めた。原因は鳥追いのためにロケット花火を打ち上げており、花火の残り火が枯れ草に引火したものと推定される。
3	7月13日 15:30頃	福島県 西郷村	産業火薬	0	0	【爆発】倉庫内物品の廃棄作業中、火薬のみを含む火工品と認識しながらも分解作業を続け、発火し破片が飛び散った。当該火工品は爆薬のみを含む信管であり、当人は爆薬が含まれていないと誤認し、部品を水中に浸漬した後、竹串で薬面部分に力を加えたことにより発火したものの。
4	7月14日 9:01頃	秋田県 能代市	産業火薬	0	0	【爆発】ロケットモーターの燃焼試験中、点火から57秒後にモーターが爆発した。消費計画時に設定した警戒区域外での被害なし。調査により、部品の一部が溶融し、モーター内面の断熱部材が損傷したことによりモーターケースが異常高温となり爆発したと判明。
5	8月6日 19:20～ 19:40頃	宮城県 大和町	煙火	0	0	【黒玉】花火大会の翌日(8月7日)の清掃作業時に打揚場所から120m離れた地点で4号玉黒玉1個を発見した。原因は製品不良、着火しなかった、水濡れのいずれかによるものと推定される。
6	8月16日 8:55頃	山形県 大石田町	煙火	0	0	【火災】花火大会の打揚会場から約300m離れた藪から出火した。原因は打上揚筒設置箇所の地盤が想定より弱く、煙火の打上高度が想定高度まで達しなかったことにより、一部部品(星)が地上落下したことによるものと推定される。

注)「死」は死亡事故、「傷」は重傷、軽傷の人数。